

幸並中生になるために

生徒用

R8

時
あなたを待つ
時間の長いこと
あなたといふ
時間の短いこと
計れば
同じ時間
なの
みつを

川口市立幸並中学校

もくじ

教育目標	3
生活信条	3
服装規定	4
中学校生活の心得	5
(1) 登校	
(2) 授業・学校での生活	
(3) 給食	
(4) 昼休み	
(5) 清掃	
(6) 下校	
(7) 職員室への出入り	
(8) 欠席・遅刻・早退の連絡	
学習の心構え	8
(1) 授業を大切にしよう！	
(2) 家庭学習は自らすすんで	
定期テスト	9
朝読書について	10
GIGA タブレットの利用について	10
日課表	10
エアコン	11
保健室の利用について	12
相談室の利用について	12
部活動について	13

幸並中生になるために

伝統ある幸並中学校の一員として、自覚と責任ある行動をとり、明るく楽しい中学校生活をおくりましょう。ここに書いてあることは、そのために必要なことばかりです。まさに「幸並中生になるために」必要なことが書かれています。幸並中学校での生活のいろいろな場面で参考にしながら、しっかり実行していきましょう。

【教育目標】

- ・自ら学び、正しく行動できる生徒 (知)
- ・心豊かで、思いやりのある生徒 (徳)
- ・心身ともに健康で、たくましい生徒 (体)

【生活信条】

生き生き きびきび はきはき

生活信条の具現化に向けて・・・「挨拶」「身だしなみ」「時間」

幸並中は社会で活躍できる人を育てます。朝自分で起きること。人の話をしっかり聞くこと。すみませんと素直に謝ること。場の雰囲気を考えて、大きな声で話したり笑ったりしないこと。大人や先輩に失礼な話し方をしないこと。大人になり、こうしたことが守れないと、厳しく指導され、恥ずかしい思いをすることになります。今まで「まだ子どもだから」で済まされていたことが、中学校では「もうすぐ大人になるのだから」と注意されるようになります。社会で活躍できる人になるために「挨拶」「身だしなみ」「時間」の3つを大切にしてください。

①気持ちのよい挨拶と返事を心がける

挨拶は相手に聞こえる声でしましょう。挨拶はするのもしられるのも気持ちがよいものです。挨拶をするだけで気持ちのよい1日がスタートします。挨拶をすると気持ちが明るくなり、自然と笑顔になります。笑顔が増えれば友達からの印象もよくなり、人間関係がよくなります。逆に、大人の人でもきちんと挨拶ができない人がいます。そうした人は「あの、挨拶もろくにできないね」と周囲から言われ常識のない人として見られてしまいます。挨拶は礼儀の基本であり、大人になるために身につけなければいけないものです。

②身だしなみを整える

身だしなみを整えて気持ちを引き締めましょう。身だしなみを整えるということは、外見や姿勢を綺麗に整えるという意味だけでなく、相手に対して失礼にならないように気を配るということでもあります。社会では、身だしなみを整えられていない人は、相手に対して敬意が足りていないと見られます。身だしなみを整えるということは、見た目を取り繕うことではなく、言葉遣いや立ち居振る舞い、相手に対する気遣いや心配りといった言動です。内面と外見が伴って初めて身だしなみが整えられたと言えます。

③時間を守る

信用を失わないために時間を守りましょう。時間厳守は、人からどんどん信用してもらえらるための大切な約束事です。時間をきちんと守る人は、約束を守る人として見られます。社会では、時間を守らない人は、信用できない人と思われています。学校では、チャイム前には、準備を整えて、心を鎮めて開始を待つようにしましょう。

服装規定

※今年度より、制服の衣替えは期間を設けません。各自で判断して、夏服なのか冬服なのか判断すること。
ただし、指示がないときに体育着登校はしないようにしてください。

登下校時	夏服	<p>上：指定の白ポロシャツ・指定の白のYシャツ（※ネクタイは着用しなくても良い。） 指定のブラウス 下：指定のズボン・指定のスカート</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ベルトを着ける。色は黒で装飾のないもの。 ・ポロシャツはズボンやスカートにきちんと入れる。 ・スカートの丈はひざが十分隠れる長さとする。 ・ポロシャツの第1ボタンを開けることは可とする。
	冬服	<p>上：白のYシャツ・指定のブラウス・指定のブレザー 下：指定のズボン・指定のスカート</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ブレザーを必ず着用して登下校する。※ブレザーを着ずに防寒着を着ての登下校は不可。例：Yシャツの上にウィンドブレーカーを着て登校など。 ・登校下校時は防寒着、手袋、マフラー、ネックウォーマーは可とする。 ・Yシャツ、ブラウスは、袖のボタンをとめる。裾は出さない。 ・セーター（カーディガン）はVネックの黒・紺・灰色とする。 ・タイツ（黒）の着用は可とする。 ・ネクタイ着用時はYシャツの第1ボタンをとめる。
校内生活	夏服	<ul style="list-style-type: none"> ・本校指定の制服または、体育着およびジャージ・シャツの裾を出さない。 ・記入タイプの体育着・ジャージの名前は濃くはっきりと記入する。 ・インナーシャツ（エアリズム等）は制服から見えないように着用する。
	冬服	<ul style="list-style-type: none"> ・本校指定の制服または、体育着およびジャージ ・校内はブレザーを脱ぎYシャツ、ブラウス、セーターのみでの生活も可とする。 ・トレーナーは防寒着としてジャージの下にのみ着用可とする。 ただし、色は白のみとし、トレーナーだけでの生活はしない。（ワンポイントまで可） ※トレーナーは学校で購入可能。 ・インナーシャツ（ヒートテック等）は制服から見えないように着用する。
履物	靴下	<ul style="list-style-type: none"> ・白、黒、紺、灰色の靴下を着用する。（ロゴやメーカー名が入っているものも可） ・くるぶしソックスは不可。（余裕を持ってくるぶしが隠れる長さ） ※ただし、部活動時を除く。（競技の特性に応じて）
	上ばき	<ul style="list-style-type: none"> ・学校指定のもの（学年カラーのもの）。かかとをつぶさない。
	体育館ばき	<ul style="list-style-type: none"> ・学校指定のもの（学年カラーのもの）。かかとをつぶさない。
	下ばき	<ul style="list-style-type: none"> ・運動靴。かかとをつぶさない。
かばん	<ul style="list-style-type: none"> ・学校指定の通学かばん（3WAY）、青バッグを使用する。 ・ぬいぐるみ、キーホルダーはつけない。※ネームタグやお守りは可とする 	
頭髪・化粧等	<ul style="list-style-type: none"> ・肩につくような長さの場合は髪を結わく。 ・髪を結わくゴムの色は黒、紺、茶色。 ・前髪は目にかからないようにし、ヘアピンは装飾のない、右図のようなもののみ可。色は黒、紺、茶色。（今後変更の可能性があります。） ・パーマ、染髪、脱色はしない。整髪料、ヘアスプレーをつけての登校はしない。 ・アイプチ、化粧、色付きリップ等をつけての登校はしない。 ・まゆ毛を抜いたり、剃ったり、染色したりしない。 	
名札	<ul style="list-style-type: none"> ・学校指定のものを左胸のポケットに付ける。なくさないように個人で管理する。 ・校内に入ったらず用する。下校時は外す。 	
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・その他学校生活に必要なものは持ってこない、使用してこない。 ・上履きを忘れた場合は職員室で貸し出し用のものを借りる。体育館履きでの生活は基本的には不可（※体育館履きで生活しなくてはいけない理由がある場合は申し出る） ・ネックレスやピアス、ブレスレット等の装飾品の着用は認めない。 	
式典時の服装について	<ul style="list-style-type: none"> ・制服を着用して式に臨む。※卒業式のみセーターは着用しない。 ・靴下は式典であっても色の指定はしない。 	



※上記の規定を守らない場合は指導の対象となります。また、場合によっては保護者同席で面談を行います。

中学校生活の心得

(1) 登校

学校の決まり

- ①正門から昇降口まではアスファルトの通路を通り、校庭を横断しません。
- ②傘は、昇降口の傘立てに置きましょう。置き傘をしないように管理しましょう。
- ③8：15 予鈴。予鈴までに教室に入ることを目安とする。授業の準備を済ませ、教室のロッカーに通学かばん等を入れて着席して先生を待ちましょう。
- ④8：20 本鈴（※着席をしていない場合は登校していても遅刻となります）
出席確認。その後、朝読書を行います。

<その他>

- ・下駄箱の使用の仕方に注意してください。上履きは上段、外履きは下段に入れましょう。

・熱中症対策グッズ可

例) 日傘、帽子、冷感タオル、保冷剤など使用可。

ハンディファン（扇風機）など機械タイプは認めない。

- ・8：45 以降に登校した生徒は職員室に行き、登校したことを伝え「遅刻カード」を受け取ってから教室に向かいましょう。遅刻カードは授業者の先生に渡してください。
- ・自転車による通学は不可です。
ただし、部活動や行事等で利用する場合を除きます。（※許可を得て登校時は押して登校する）
また、ヘルメットは必ず持参し、乗車する際は着用してください。
- ・駐輪場所は通用門側（会議室前）に停めてください。
- ・電車、バスでの通学は事前に学校の許可を得ます。ICカード、定期は各自で保管します。

(2) 授業・学校での生活

- ①チャイム前に授業準備や移動教室等は済ませ、着席して授業の開始を待ちます。
- ②授業の始めと終わりには号令をかけ、あいさつを行います。
- ③入室が遅れたとき、又は授業中席を離れるときは、先生にその理由を伝え、許可を得てから行動しましょう。
- ④忘れ物をしてしまった場合は、授業前に授業者の先生に報告し、指示を受けます。
※物の貸し借りは紛失や破損によるトラブルを防ぐため禁止とします。
- ⑤教科係は、教科連絡（準備する物・服装等）を授業後や休み時間に聞いておきましょう。
※清掃や帰りの会前には聞きにいかないように注意しましょう。
- ⑥他クラスの教室、特別教室には、先生の許可なく勝手に入らないようにしましょう。
- ⑦授業に不必要なものは持ってこないでください。
誤って持ってきてしまった場合は、朝のうちに先生に申し出て、預けましょう。
不要物が発覚発見した場合は没収となります。例：携帯、お菓子、財布・化粧品等
- ⑧休み時間の過ごし方は節度を守り、公共の場であることを理解して行動しましょう。
例：廊下に座る、走る、トイレにたまる等
- ⑨トイレの使用については、基本的に各学年フロアのトイレを使用します。
トイレに用事（手を洗う、排便など）もないのにたまらないようにしましょう。
便器の上にあがったり、のぼったり絶対にしない。また、トイレトーパー以外のものを流さないようにしてください。詰まったりした場合は必ず先生に申し出ましょう。
- ⑩体育館での授業・集会等の場合は体育館シューズを履きます。履く際は、渡り廊下で脱いだり履いたりせず、体育館に入場後に履きましょう。
- ⑪机には授業に関係のあるもののみ置くようにしましょう。
※水筒はロッカー、机の下、または机の横にかけておく。通路には置かない。

(3) 給食(35分間)

- ① 4校時が終わったら、給食当番はすみやかにエプロン、三角巾（前髪が出ないようにする）、マスクを着用し、準備を始めてください。12:40までに給食室・パントリーに取りに行きましょう。（当番以外の生徒は配膳室・パントリーには行きません。付き添いもなしです。）
 - ② 「いただきます」「ごちそうさまでした」はそろって元気よく行いましょう。
 - ③ 12:45には「いただきます」をし、13:05に「ごちそうさまでした」をします。（13:10までは教室を出ません。）13:05～13:10は歯みがきタイムです。13:15までに給食室に戻しましょう。
※箸は忘れないように毎日持ってきましょう。
- ※忘れた時は給食準備中に学習室へ行き、学年の先生へ申し出て、お箸を借ります。給食の時間が終わったら学習室の洗剤で洗い、返却します。

(4) 昼休み(20分間)

- ① 午前中に体育着、ジャージに着替えていないクラスは昼休み中に着替えます。
- ② 外に出る場合はグラウンドのみの利用とします。（駐車場やプールの裏・敷地外は不可。）
- ③ 室内で過ごす場合は節度を守り、公共の場であることを理解して行動しましょう。
- ④ 雨天時やグラウンドコンディションが悪い場合は利用をしません。
- ⑤ バasketゴールは一部の学年や生徒（上級生）で独占しない。また、Basketゴールにぶら下がる、よじ登るといった行為はやめてください。
- ⑥ グラウンドで使用できるものは貸し出し用ボールのみとなります。
- ⑦ 予鈴がなったらすみやかに教室に戻り、着席して先生を待ちましょう。
- ⑧ グラウンドから校舎に入る際は砂、土を昇降口に持ち込まないように靴の底を払ってから入りましょう。また、上履きは上段、外履きは下段に必ず入れましょう。

(5) 清掃(月曜:簡単清掃 火曜～金曜:15分清掃)

- ① 清掃場所にすみやかに移動し、すみずみまでていねいに清掃しましょう。
- ② 清掃中は手紙を取りに行く、教科連絡など他の活動をししないでください。
- ③ 早く清掃が終わった人は、教室の清掃に参加してください。
- ④ 清掃終了時は、必ず担当場所の生徒全員が集まり、担当の先生に報告と終了のあいさつを行ってください。
- ⑤ トイレのハンドソープの補充 → 職員室前流し
トイレットペーパーの補充 → 保健室
補充は「トイレ掃除の生徒」が行います。
- ⑥ 教室の洗剤の補充は美化委員が毎週水曜日の清掃時間に行います。
- ⑦ 簡単清掃は机、椅子はそのままで黒板掃除、教室、廊下の床掃きのみ実施します。

(6) 下校

- ① 部活動に所属していない生徒や部活動がない日の下校は原則制服となります。
 - ② 部活動終了後はすみやかに下校の準備を行い、完全下校時刻を守り帰宅してください。
※部活動の生徒は活動着のまま下校できます。
 - ③ 上履きは上段、外履きは下段に入れてから下校しましょう。
 - ④ 下校中も学校生活の一部です。幸並中生としてのあるべき姿で行動してください。
例：買い食い、信号無視、大きく道に広がるなどの行為。
- ⑤ 熱中症対策グッズ可（登校時と同様）

(7) 職員室への出入り

- ①かばん類・コート・マフラー・ネックウォーマー・手袋等は外し、廊下の壁ぎわなど、通行の邪魔にならないところに置いてから入室します。
- ②入室時、ノックをして戸を開け、用のある先生、またはその学年の先生に聞こえるように「失礼します。○年○組（部活動名）の△△（氏名）ですが、◇◇先生に用があつて来ました」と伝えましょう。
- ③不在の先生の机上から荷物やカギを持っていく時は、必ず近くにいる先生に断り、許可を得ましょう。
- ④テスト1週間前、成績処理期間中は職員室には入室できません。ただし、職員室内の白いラインまでは入室することはできます。

(8) 欠席・遅刻・早退の連絡

- ①保護者から学校（担任）の先生へ必ず連絡を入れてもらいましょう。

《欠席・遅刻・早退の連絡方法》

電話：8：00～8：15の時間帯で学校に連絡してください。

LEBER：PC、スマートフォンから必要事項を記入する。

※原則LEBERでの連絡となります。

- ②遅刻、早退があらかじめ分かっている場合はLEBERに記入し、担任に知らせます。

※8：45以降に登校した場合は職員室に行き、遅刻カードを受け取ってから教室に向かいます。

※早退した場合は、帰宅後に帰着の連絡をしてください。

学習の心構え

中学校生活でもっとも大切なことは、自主的・意欲的な学習の取り組みです。各教科の授業をはじめ、家庭学習や定期テストの勉強などを自ら計画的に行うことが、よりいっそう中学校生活を楽しく有意義なものにします。

(1) 授業を大切にしよう！

教科の学習は、まず一時間一時間の授業を大切にすることから始まります。授業を大切にするためには、次のことがきちんとできていることが大切です。

①始業前には

- ア) 学習用具の準備をしよう。
- イ) 忘れ物の点検をしよう。忘れ物があったら、教科の先生に授業前に報告します。
生徒間の貸し借りは紛失や破損の原因になるため禁止です。
- ウ) 教室移動や着替えは休み時間に済ませておきましょう。

②授業の始まり

- ア) チャイムが鳴る2分前までには授業の準備をして着席します。(2分前着席)
- イ) 「起立」「気をつけ」「礼」の号令で「おねがいします」と元気よくあいさつをしましょう。

③授業中

- ア) 先生の説明や、級友の発言は口をはさんだり、からかったりせずに最後まで聞こう。
- イ) 積極的に授業に参加しよう。
- ウ) ノートのとり方を自分で工夫しよう。
- エ) 分からない箇所や疑問点は遠慮なく質問し、その時間に学習したことはできるだけ、その日のうちに確実に理解しよう。

④授業の終わり

- 「起立」「気をつけ」「礼」の号令で「ありがとうございました」と元気よくあいさつをしよう。

(2) 家庭学習は自らすすんで

①家庭学習のポイント

- ア) 毎日計画的に、学習を進めよう。
家庭学習に必要な教科の道具を持ち帰りましょう。持ち帰らないものは整理整頓し、ロッカーに保管しましょう。
- イ) 家庭学習の内容は、授業で学んだことを確実に理解するため、復習に重点を置こう。
- ウ) 家庭学習専用のノートを用意して、事後の学習に役立てよう。
- エ) 分からないところは、ノートにチェックし、次の日に先生や友だちに相談しよう。

②家庭学習帳・生活記録ノートの使い方

- ア) 名前の記載はマジックを使用しましょう。
- イ) 各学年の指示に従い、提出すべきものは朝のうちに提出しましょう。

(3) 定期テストは計画的に

- ア) 試験範囲は 16 日前に出します。
遅くとも、2 週間前から定期テストに備えて勉強しよう。
- イ) テスト範囲内の要点を整理し、基礎的・基本的事項は何度も繰り返して学習し、応用力をつけるために参考書などの問題もやってみよう。
- ウ) 定期テストの問題用紙は教科ごとに保存しておこう。

定期テストの受け方

- ★座席は出席番号順に座る。
- ★机の中は空にしておく。
- ★机上には、必要な筆記用具（ペン・消しゴム・定規など）のみ置く。筆箱も必ずしなう。
- ★教科書類は、カバンに入れて椅子の下に置くか、自分のロッカーに片づける。
- ★先生の『はじめ』の合図でテスト開始。最初に氏名を記入する。
- ★テストは無言で行い、不正行為は絶対にしない。
- ★テスト中に困ったこと（物を落とした、質問がある、体調が悪い、等）があった場合は、手を挙げて担当の先生の指示を受ける。
- ★先生の『やめ』の合図で筆記用具を置く。列の一番後ろの生徒が、番号順になるように、解答用紙を回収して先生へ渡す

定期テストの不正等についての対応

	事案	
テスト中	メモ書きや他の生徒の答案を見る、見せる、不自然な動き、チャイム終了後に書き足す等の行為をした。	1：注意・指導します。 2：不正行為が確認できた場合には、テスト中であっても答案用紙を回収します。
テスト返却時	返却された答案で間違っている箇所を消しゴムで消して直して○をもらいに来た等。（改ざん行為）	
評価	事案に記載されているような不正行為があった場合。	テスト中、テスト返却時にカンニング等の不正行為が発覚した場合、不正行為とみなされた教科について0点とし、個票・順位は記載しない。

その他

- ・テスト開始後に登校した場合
登校後、そのまま教室に入り受験することは可です。この場合は通常通りの評価とします。
- ・時間内に受験できなかった場合
①次の時間の教科から教室で受験します。時間通りに受験した教科は通常通りに評価します。
②間に合わなかった教科についてはその日、または後日別室で受験する場合があります。
*その教科は参考点扱いとし、全体の個票・順位にはいれず、個別で個票は出します。
- ・欠席した生徒について
原則、テスト後3日間のうちに受験を行います。
出席停止となっている場合はこの限りではありません。
出席を要する授業（実技授業、小テスト等実施授業など）がある場合は、授業に出席し、受験できなかった教科は放課後に受験をします。

朝読書について

《流れ》

- ①本は学級文庫、または自分で用意します。(マンガは許可していません。)
- ②出席確認後～8:35の約15分間、静かに朝読書をしましょう。
- ③定期試験一週間前から読書と自学自習の選択ができます。いずれも周りに迷惑のかからないよう静かに取り組むものにします。

GIGA タブレット利用上の注意事項

- ①タブレットは教員の指示のもと学習のツール(道具)として利用してください。
- ②タブレットは原則充電BOXに保管してください。
- ③先生の許可及び指示なく、タブレットを利用しないでください。
- ④自身のID・パスワードは他人に教えないようにしてください。
- ⑤利用上の注意事項を繰り返し違反した場合は使用禁止になる場合があります。

幸並中

日 課 表

平常50分授業		月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
登校		8:00	～	～	8:15	
出席確認・朝読書		8:20	～	～	8:30	
朝の会	5	8:30	～	～	8:35	
1校時	50	8:40	～	～	9:30	
2校時	50	9:40	～	～	10:30	
3校時	50	10:40	～	～	11:30	
4校時	50	11:40	～	～	12:30	
給食・歯磨き	35	12:30	～	～	13:10	
昼休み	20	13:10	～	～	13:30	
5校時	50	13:35	～	～	14:25	
6校時	50	14:35	～	～	15:25	
清掃	15	15:25～15:30 簡単清掃	14:25～14:40	15:25～15:40	14:25～14:40	
帰りの会	5	15:30～15:35	14:45～14:50	15:45～15:50	14:45～14:50	
委員会 部活動		なし	14:50～	15:50～	14:50～	
完全下校時刻	16:50					
教室・廊下等戸 締り・消灯	1階＝日直 2階＝2年 3階＝3年 4階＝1年 管理棟＝教務 体育館・プール・武道場・昇降口＝各部活動 ※日直の確認＝16:40					

* 委員会は原則月曜日・集会等は原則木曜日に行う。
火曜および金曜に入れない。

大会・コンクール前の部活動延長について

大会前2週間 * 放課後練習は30分間の延長可

エアコンの使用について

原則は下記に記載の通りですが、体調を第一に考え、使用します。

	夏季（冷房）	冬季（暖房）
使用基準	室温 28℃以上	室温 10℃以下
設定温度	26℃（23℃まで調節可）	20℃（23℃まで調節可）
運転時間	通常授業	出欠確認時から最終授業終了まで（休み時間・給食含む） ※給食・昼休みは使用可 朝から基準に達していたら出席確認前から使用可です。
	長期休暇	補習や懇談会・面談等の特別時間
	放課後	委員会や個人面談等の特別時間
	部活動	部活動で使用する教室のみ
使用不可	・授業を行っていない教室（使っている人がいない教室）	
備考	<ul style="list-style-type: none"> ・操作は全て先生のみです。生徒が勝手に付けることのないようにしましょう。エアコンが必要な場合は先生に申し出ましょう。 ・温度は教室によって気温が異なるため、温度調節可です。 ・エアコンが利きすぎて寒さ（暑さ）を感じるようでしたら、先生に伝えてください。（冷房中にジャージを着る、暖房中に半袖・ハーフパンツになるといった状況は、エアコンの必要性がないと考えられます。） ・風向きや風量を変えてほしい場合も、先生に申し出ましょう。 ・フィルター清掃やカーテンの活用をし、より効果的に使いましょう。 	

保健室の利用について

- ①保健室を利用するときは、本人が直接担任、教科担当や部活動顧問の先生に連絡してください。
- ②本人だけで来るのが原則とします。付き添いが必要な場合は、保健委員1名とします。
- ③保健室の利用時間は、緊急時以外は休み時間とします。
- ④保健室は、その日学校で起きたけがや体の不調に対しての応急処置を行います。
その後の治療については、家庭で行ってください。
- ⑤許可なく器具・薬品・ベッド等に触らないでください。ベッド使用後は、布団等きちんと整えましょう。
- ⑥保健室を利用するときは、他に休養している生徒がいる場合があるので、自分のことだけでなく他人のことも考え、言動に注意しましょう。
- ⑦保健室閉室時は、職員室の先生に相談してください。
- ⑧入室時、入口で上履きを脱ぎスリッパを履きます。上履きはシューズボックスに入れてください。
- ⑨入室後、クラスと名前、用件を伝えてください。
- ⑩保健室での休養は原則1時間とします。改善が見られない場合は保護者に連絡後、早退となります。

相談室の利用について

相談室は、友人関係や勉強、自身の性格、家庭のことなどの相談等、全ての幸並中生が安心して生活するために必要な相談を受け付けています。また、気持ちを落ち着かせるために使用することもありますので、利用する際には節度を守り、お互いに思いやりの心を持ちましょう。

★相談時間・・・昼休み（10分休みを利用して予約を取ってください。）

保護者による相談や、緊急性のある相談のみ、授業中も行います。

★相談予約方法・・・①相談員に申し込む。

②担任の先生を通じて申し込む。

③電話で申し込む。（048-251-5968）

☆相談は予約優先です。予約のっていない時間であれば、予約がなくても相談できます。

★相談方法・・・①面談

②手紙

③電話（048-251-5968）

☆相談員への相談は学校授業日、スクールカウンセラーへの相談は各週木曜日に行います。

部活動について

(1) 幸並中学校の部活動と顧問の先生

部活動名	顧問	部活動名	顧問
野球	菅野先生・伊藤剛先生	剣道	星川先生・矢野先生
サッカー	藤井先生・白倉先生	水泳	高橋勇輔先生・羽山先生
バレーボール男子	坪谷先生・清水先生・後藤先生	美術	柳沼先生
バレーボール女子	高橋小麦先生・大倉先生	吹奏楽	高本先生・桂先生・高村先生
バスケットボール男子	川原先生・川島先生	科学	杉山先生
バスケットボール女子	大場先生・高村先生・河村先生		
ソフトテニス男子	加添先生・安倍先生		
ソフトテニス女子	向坪先生・海北先生		
卓球男子	富田先生・宇野先生		
卓球女子	長瀧先生・宇野先生		
陸上	伊藤紗耶先生・川口先生		

2) 活動にあたって

- ①：部活動は任意加入制とし、本人の意思で決定しましょう。
- ②：加入生徒は各部で定められたルールを順守し活動しましょう。
- ③：入部後に活動に参加しない生徒（幽霊部員）については認めません。また、無断での欠席が続く場合は顧問、本人、保護者の間で継続または退部の意向について確認を行います。
- ④：入部について
 - 【1年生】
 - ・入部届に希望の部を記入し提出します。入部届は学年用、顧問用とあるため、2種類を提出します。
 - 【2年生】
 - ・2学期までであれば入部を認めます。（ただし、部活動によっては顧問判断により入部や転部を認めない場合もあります）入部希望者は1年生同様に仮入部期間を顧問や担任と決め、所定の手続きを経て入部とします。3年生からの入部は原則認めないものとします。
 （ただし、特別な事情がある場合は学年、顧問と相談の上、認める場合もある。※転入等）
- ⑤：継続について
 - ・2、3年生は自動的に部活動の継続となります。継続しない場合は担任、顧問にその旨を伝え、退部届を提出します。
- ⑥：転部について
 - ・一度の転部は認めます。転部の際は本人、保護者の意思を確認後、現顧問と新顧問、担任に確認を行い、仮入部期間を経て転部届を提出します。

⑦：3年生の活動について

- ・最後の大会やコンクール等の後も本人（家庭）の意思や顧問の判断で、活動を継続していくことを認めています。ただし、部によっては活動に区切りをつける場合もあります。

⑧：荷物（通学かばん・青バック・制服）は、活動場所へ持って行きます。教室に置いて活動場所には行かないでください。

⑨：用具、備品の使用には責任を持ち、常に安全を確認して使用してください。

⑩：原則として、部活動用具はロッカーや下駄箱に置いて帰らずに持ち帰りましょう。

（盗難、紛失防止の観点から）

⑪：土日、長期休業中、給食停止日等、弁当を持参する場合は各自でゴミは持ち帰ります。教室等のごみ箱には捨てないでください。

⑫：弁当を食べる場所は、顧問の先生の指示に従い、教室や活動場所等で食べます。

⑬：水筒は通年持参可です。（中身は水、茶類、スポーツドリンクのみとする）

なお、ビン/カン紙パックを水筒代わりにすることは禁止です。ペットボトルの場合はペットボトルホルダー等に入れてください。

⑭：平日に自転車を利用する場合は顧問の先生の指示があった時のみとします。ただし、登校の際は自転車を押して登校します。